

# 東久留米市緑の基本計画等検討部会 会議録

1. 会議名 第10回東久留米市緑の基本計画等検討部会
2. 日時 令和5年1月18日(水) 午後2時00分から4時00分
3. 場所 市役所7階 701会議室 (Microsoft Teams 併用)
1. 出席委員氏名 (敬称略) 杉原弘恭 (部会長)、水戸部啓一、板倉正弥、菅谷輝美、土屋守久、下村央行、大塚ちか子、豊福正己、吉川雅継
2. 欠席委員氏名 (敬称略) 高橋喜代治
3. 事務局職員名 環境政策課長、緑と公園係長、計画調整係長、計画調整係主事、コンサルタント会社 (アジア航測株式会社)
4. 傍聴人 0名
5. 議題
  - (1) 第9回検討部会会議録 (案) の確認 (資料1)
  - (2) 緑の基本計画等策定について
    - ・計画案の確認 (資料2)
  - (3) その他
    - ・次回の日程について (参考資料)
6. 配布資料
  - 第9回検討部会会議録 (案) ..... 資料1
  - 第9回検討部会における合意事項と第10回検討部会における確認事項..... 資料2-1
  - 東久留米市第三次緑の基本計画・生物多様性戦略 計画案..... 資料2-2
  - 部会員意見と対応方針 (案) ..... 資料2-2 別添
  - 第三次緑の基本計画等策定スケジュール..... 参考資料

## 7. 第10回東久留米市緑の基本計画等検討部会

### (1) 第9回検討部会会議録(案)の確認(資料1)

#### 【部会長】

- ・第9回の会議録について、加除修正等はあるか。なければ発言者と文中の名前を削除して、公開していただく。

### (2) 緑の基本計画等策定について

#### 【部会長】

- ・それでは本日の議題に入る。事務局より資料の説明をお願いします。

#### 【事務局(コンサルタント)等】(岡田)資料2-1説明

#### 【事務局等】パブリックコメント実施結果について説明

#### 【部会長】

- ・パブリックコメントの実施結果は全てホームページで公開されるのか。

#### 【事務局等】

- ・この形で公開する。

#### 【委員】

- ・パブリックコメントの8番の回答で、グリーンインフラ2の用語解説については多分誤植なので、直していただければと思う。

#### 【事務局等】

- ・承知した。修正する。

#### 【事務局(コンサルタント)等】資料2-2説明

#### 【部会長】

- ・前のフォントは明朝であったが、今回はゴシックになっているのが気になる。

#### 【事務局(コンサルタント)等】

- ・これまでは丸ゴシックで作成していたのでそのままになっている。最後デザインのところでフォントを戻すことは可能である。
- ・コラムはゴシックにしている。

#### 【委員】

- ・文字のポイントが前回よりも小さくなってるように感じる。小さすぎて見えない。元に戻していただけないか。

#### 【部会長】

- ・ポイントは同じだと思うが、行間が狭くなったのではないか。

#### 【事務局等】

- ・今後の冊子製本をイメージして、ページ数等も考慮したものである。

#### 【委員】

- ・これは読んでいただくものであって、作り手の都合で勝手に見づらくするのは間違いだと思う。前回は議論をして文字の大きさを決めた。

**【事務局 等】**

- ・基本的には前回の計画と同程度のポイントにする予定である。
- ・これまでの検討部会では中間見直しよりも大きいポイントで皆様にお示ししていたが、基本的にはこのポイントと同様のポイントで調整する予定である。

**【事務局 等】**

- ・本日皆様にお示ししているものが見えづらいというご指摘か。

**【委 員】**

- ・見えづらい。1行の文字数が増えているので、多分小さくなっている。

**【部 会 長】**

- ・行間・文字間隔は狭いと思うが、ポイント数は同じではないか。

**【委 員】**

- ・行間も狭いと思う。
- ・要するに一行の文字数が増えている。だからポイントが下がっているのではないか。

**【部 会 長】**

- ・いずれにしても、最終的に印刷の段階で見やすくしていただきたい。

**【事務局 等】**

- ・予算の上限があるので、ページ数をどこまで増やせるかというのがあると思う。
- ・見やすくならないか検討する。

**【委 員】**

- ・せっかく文章をここまで作り込んできたので、それを書き換えるとは言えないが、見やすさはかなり大事なことだと思う。

**【事務局 等】**

- ・コラムと資料編を合体することで、全体的な見た目の印象も変わる。どの位置にコラムを置くかというご議論も多々あったと思うので、そこを皆様にご検討していただくに当たり、フォントも製本版に近づけた。

**【委 員】**

- ・製本版に近づけるということは、より見やすくなるといけな。製本版と同じくらいのレベルでできなければならない。
- ・最初に取り決めをしておけばよかった。

**【部 会 長】**

- ・中間見直のページ番号が、グレー地に白字抜きの文字になっていて、非常に見にくかったので、今回は見やすくしていただくようお願いする。

**【事務局 等】**

- ・可能な限り見やすいように対応させていただきたい。

**【部 会 長】**

- ・印刷も、余計なことをいろいろやると単価が上がる。多色刷りで無駄な装飾がたくさん入るような「グラフィックデザイン」は、コストもかかる。大事な個所を濃く

して強調するだけのような「エディトリアルデザイン」は、読みやすさに特化しており、単価も安い。業者は「グラフィックデザイン」で出してくるので、そこは事務局でもチェックしていただきたい。

- ・とにかく市民に分かりやすいということをモットーに、見やすくしていただくようお願いする。
- ・それでは、ブロック単位で見ていく。1～11 ページ、コラム1～4が入っている。こちらについて、いかがか。

**【事務局 等】**

- ・前回の検討部会でご意見をいただいた、2 ページの2 段落目「緑の計画は都市緑地法に基づき…」から始まる2 文目について、「東久留米市では、都市緑地法に加えて、東久留米市のみどりに関する条例も踏まえ、今の環境を次世代に繋げるための計画として、…」というこで、緑に関する条例の記述を追加させていただいた。ご確認をお願いしたい。

**【部 会 長】**

- ・これは2 行目に緑の条例が入っていなかったので入れようということで、最初は「条例に基づき」としていたが、時点のものがあるので「条例を受けて」としてはどうかという議論があった。今回「踏まえて」という言葉になったということである。
- ・私の方から。7 ページのポンチ絵の2 段目、江戸時代のがけ下の麦の絵は、稲の絵に替えた。
- ・11 ページの小野殿淵の写真は、以前委員から頂いたものではなかったか。

**【委 員】**

- ・今日は確認できないが、明日心当たりのある人に会うので聞いてみる。

**【部 会 長】**

- ・場所が特定できたらぜひ教えていただきたい。合流点であることは間違いない。立野川と落合川の合流点の可能性も無きにしもあらずだが、多分違うだろう。黒目川と落合川でよいと思う。

**【委 員】**

- ・そう思う。落合川の右岸の所には弁天さんがある。

**【委 員】**

- ・8 ページに「しんやま親水こみち」と書いてあるが、これは「しんやま親水広場」ではないか。前からそうになっていたか。今回変えたのか。

**【委 員】**

- ・これは下里氷川神社が見える所であろう。これは“こみち”でよいのではないか。

**【委 員】**

- ・いや、“広場”である。前回は「しんやま親水広場」で、“こみち”と書いたのは氷川神社の方だったような気がする。

**【委 員】**

- ・交番から上が“広場”で、“こみち”が下流である。
- 【委員】
- ・右側に見えるのが氷川神社で、そこへつながる左岸が散策路である。だからこの散策路自体も新所沢街道より下流側である。だからこれでよいのではないか。
- 【委員】
- ・地図上の表記、位置の問題である。
- 【委員】
- ・“こみち”とするならば、「しんやま親水こみち」ではなく「しんみやまえ親水こみち」である。
- 【委員】
- ・繰り返しであるが、この地図で「しんやま親水こみち」と書いてある所は、前は「しんやま親水広場」となっていたので、本来そのように書くべきであって、「しんみやまえ親水こみち」と表示したいのであれば、氷川神社の付近に書かないとおかしいのではないか。
- 【部長】
- ・“広場”から“こみち”になった時にご意見をいただいたのかもしれない。“広場”と“こみち”の両方を入れるか。
- 【委員】
- ・地図の中が“広場”でよいのではないか。
- 【事務局等】
- ・写真枠が“こみち”になっているので、図中の文字を北東側に寄せることで、対応したいと思う。
- 【委員】
- ・地図の中の言葉と、青枠の写真と言葉が違うから合わなくなったのではないか。写真と合わせるのであれば「しんみやまえ親水こみち」の方が正しい。
- 【部長】
- ・他はいかがか。
- 【委員】
- ・この図のポイントは全部同じか。
- 【部長】
- ・これは少し小さいと思う。
- 【委員】
- ・写真が小さくなっているので、文字も一緒に小さくなったのかもしれない。
- 【部長】
- ・確かに、全体の図が小さくなっている。
- 【事務局等】
- ・印刷の際の余白の都合上、少し縮められてしまっている。製本用のプリンターで印刷

すれば、もう少し余白が狭まると考えている。

【部 会 長】

- ・では、12～17 ページについて。コラムは5と6が入っている。

【委 員】

- ・この後もそうであるが、コラムを挿入する場所が、本文全体の後に入れるのか、全体の流れを断ち切っても関連する所に入れるのがよいのか、少し議論が必要かと思う。
- ・例えばここでは、第2章の(1)～(3)の後にコラムが入り、(4)の後にコラムがある。これが(1)～(4)の後にコラム5と6が入るとどちらがよいか。この後にも関わるので、議論が必要だと思う。

【部 会 長】

- ・分断する必要はあまりなさそうである。
- ・二つのコラムをくっつけた方がよいのではないか。

【委 員】

- ・その方が読みやすいかもしれない。

【部 会 長】

- ・そのようにしていただけるか。コラム5と6を並べる。14 ページの次にコラム5と6をくっつける。

【事務局 等】

- ・コラム5と6をくっつけるというのは、並べるということか。

【部 会 長】

- ・15 ページと16 ページを入れ替える。

【委 員】

- ・コラムの数字が大きいものと小さいものがあるので、統一した方がよい。

【部 会 長】

- ・前回のフォントは大きくて、凄く見やすかった。

【委 員】

- ・それはかなりこだわった。

【部 会 長】

- ・そうではなく、前回の検討部会の資料である。これは多分ポイントは同じではないか。

【委 員】

- ・いや違う。小さい。それが一番端的に分かるのが、10 ページのコラム3である。前回中間見直しでは、例えば中段の「宮下橋周辺では…」という行の最後は「…深さは」で切れているが、今回はそこから6文字増えている。

【部 会 長】

- ・これは冒頭にも議論したが、前回のドラフトぐらい文字を大きくできるのであれば、見やすいのでぜひご検討いただきたい。

【事務局 等】

- ・可能な範囲で検討させていただく。予算の都合上、これ以上ページ数が増やせるのかどうかもある。

【部 会 長】

- ・ドラフトからページ数がそんなに変わったのか。

【委 員】

- ・コラム3が1ページに入るか入らないかと議論したくらいなので、その前に相談してほしかった。

【事務局 等】

- ・今日お示ししているのは、第二次の中間見直しと同等のフォントである。

【委 員】

- ・これは小さい。

【事務局 等】

- ・基本的には同等のフォントで印刷する予定である。

【委 員】

- ・そうするとはみ出すかもしれない。

【事務局 等】

- ・先ほども申し上げたが、余白の都合上、どうしても真ん中にレイアウトが集中してしまうこともある。印刷製本した時には引き延ばされて、これよりは大きくなると思う。

【委 員】

- ・ただ、ポイントを下げってしまうのはやはり見づらいので、もしページが増えてしまうのであれば、補足資料を減らしてもよいのではないか。

【事務局 等】

- ・今からその対応は難しいので、できる範囲でやらせていただきたい。

【委 員】

- ・せっかく良い作品ができて、読んでもらえないのでは意味がない。相当工夫しなければならない。

【委 員】

- ・コラム3の「宮下橋周辺は…」の後、“水か”となっているが“水が”でははいか。

【部 会 長】

- ・他はよろしいか。意見があれば後でも構わないので、次の18～33ページに進む。

【委 員】

- ・先ほどと同じであるが、26ページのコラムの位置も、一連の流れが繋がる方がよいのではないかと思うが、いかがか。

【部 会 長】

- ・野火用水に関連しているためではないか。

【委 員】

- ・コラム7は最後にして、18拠点の説明を集中させた方がよいのではないか。野火止

用水に絡んでいるが、絡みを付けなくてもよいと思う。

【部 会 長】

- ・これについて、いかがか。野火止用水も複数の拠点にまたがっている。

【委 員】

- ・18 拠点についてまずしっかり述べて、補足情報としてコラムを加える。

【部 会 長】

- ・それではそのようにする。
- ・次に 34 ページから 59 ページ、コラムは 8～13 が入っている。

【委 員】

- ・コラム 8 について、ここにアユの写真を提供したいと思っている。稚魚、産卵の卵など、生活史に関わるような写真があるので載せていただければと思う。

【部 会 長】

- ・ビジュアルの印象も良く、読みやすくなるだろう。お願いしたい。
- ・コラム 8 の位置はこれでよいか。この章のコラムは割とはまっていると思うが、流れはどうか。

【委 員】

- ・施策の系統図の並びはあまり断ち切られない方がよい。

【部 会 長】

- ・基本方針のブロックの最後に載せる。例えば資料集のように、基本方針の最後にコラムを置くというのはどうか。

【委 員】

- ・例えば、コラム 9 は基本方針 4 の前にする。

【部 会 長】

- ・コラム 9 が基本方針 4 の前ということは、基本方針の 3 の最後に持ってくるということか。

【委 員】

- ・43 ページと 44 ページは公園について書かれているので、その後に置くのはよいと思う。

【委 員】

- ・読みやすいと思う。

【部 会 長】

- ・それではコラム 9 は 45 ページのままとする。
- ・コラム 10 のナラ枯れ・カエントケについてはどうか。外来種の後か。

【事務局 等】

- ・コラム 10 と 11 を基本方針の最後に持ってくるということか。

【部 会 長】

- ・例えばということであるが、飛んでしまうので、これでよいような気もする。

【委員】

- ・カエントケはどこに関わるのであったか。

【委員】

- ・このページの上の個別目標 13 にカエントケと書いてある。文章をうまくまとめてもらって、とてもよい感じになったと思う。

【部長】

- ・外来生物に関連してコラム 11 のウチワゼニクサが入り、市民の関係ということでコラム 12 と 13 が入るので、これでよいのではないか。

【委員】

- ・文中に入るのであれば、囲みなど、コラムと分かるような処理があった方がよい。

【事務局等】

- ・第二次中間見直しでは、「るるめちゃん」をポイントとして入れて、フォントも変えている。今回はそこまで至らず、全体の文章に溶け込んでしまっているが、最終的にはそのようにさせていただきたいと思っている。

【部長】

- ・他はいかがか。

【委員】

- ・55 ページのコラム 12 の表に、「日本ボーイスカウト東京連名東久留米第一団」というのがあるが、その下にも同じものがある。

【事務局等】

- ・片方を削除するよう修正する。

【委員】

- ・今と同じ表であるが、「東久留米・川クラブ」は、今は東久留米を取って「川クラブ」になっているのではないか。

【委員】

- ・これは令和 2 年度のものなので、その時点では「東久留米・川クラブ」だったのかもしれない。

【委員】

- ・現在は「川クラブ」だと思う。

【事務局等】

- ・確認して適切な対応をする。

【委員】

- ・30 ページ「⑫落合川源流域」の地図で、「小金井街道」と道路の愛称名が書いてある。他の所を見ると「都市計画道路」となっているが、道路の愛称名で表すのであれば、27 ページの久留米中の西側の道路は「小金井街道」、その段の「⑤本村」の地図でも「新小金井街道」とする方がよいのではないか。

【部 会 長】

- ・その方が市民には分かりやすいかもしれない。

【委 員】

- ・都市計画道路の番号ではなく、ということであろう。

【部 会 長】

- ・それとも両方書くか。

【委 員】

- ・本文ではどうなっているのか。

【委 員】

- ・全体図にもあるのではないか。
- ・⑧と⑨は本文に街道の名前が入っていない。

【事務局 等】

- ・小金井街道の方が市民に親しみがあると思う。一方で、計画道路の番号も必要なので、併記する形にさせていただこうと思う。

【部 会 長】

- ・では両方追加ということをお願いします。

【委 員】

- ・23 ページ、凡例では街路樹は緑色の太線になっている。前の計画から今回の計画の間で整備されたということだと思うが、神宝小の前は街路樹があったような気がする。また、柳窪の十小の所と、前田病院付近から東久留米の駅へ行く所もあったような気がする。

【委 員】

- ・落合川がぶつかる所であろう。

【委 員】

- ・街路樹はもう一回確認した方がよいかもしれない。

【部 会 長】

- ・それはお願いしたい。
- ・次に、57～64 ページ。63 ページの PDCA サイクルの図はもっと小さくてもよいかもしれない。一般的には図のフォントの方が小さい。バランスを取っていただきたい。

【委 員】

- ・フォントの大きさは前回は参考にしてもらおうとよい。59 ページの重点施策もそうであるが、もう少しバランスがよいものにしてほしい。
- ・これは印刷前にデザインの専門家に見てもらえるのか。

【事務局 等】

- ・印刷製本の業者に発注するが、その中で調整があると思う。

【委 員】

- ・この案のまま出してしまうのか。

【事務局 等】

- ・それはない。

【委員】

- ・とにかく見やすさを一番にしてほしい。強調できる所は強調するなど、メリハリもあった方がよい。

【部会長】

- ・これで本文全てを見たが、よろしいか。
- ・次に資料編の 65～101 ページまでを見るが、まずは 94 ページまで、資料編の 1～5 までを見たい。
- ・前回の検討会で、何のために資料編を作っているのかという意見があり、教員や小中学校の教育資料を兼ねているということを申し上げた。それならば、夏休みに子供たちが観察する時の手引きとなるようなものがあるとよいのではないかという話があり、急遽、考えていただいたのが 88～90 ページである。
- ・当初は、四季に応じてどのような鳥や魚や虫などがいるかというような、軽いものをイメージしていたが、お願いした主旨とは違い、なかなか充実した鳥の説明が出てきた。この扱いをどうするか。しっかりしたものでもあるので、削減するのはもったいない。
- ・一つの案としては、91 ページに 2014 年から 2022 年までの野鳥観察記録、92～94 ページに過去の記録があるが、ページの関係があるのであれば、作っていただいた 88～99 ページは生かして、92～94 ページまでは貴重な記録ではあるが、中間見直しなどを参照していただくということで、削除してはどうか。

【委員】

- ・これは市民観察種をどうするかという議論もある。東久留米で見られるものをどこかに入れるというのは前々からの案である。せっかくまとめていただいたが、鳥だけで話を全部するのもどうかと思った。
- ・このようなものはインターネットで見られるようにしておく。例えば、計画書は 5 年に 1 回しか作らないが、インターネット上にあれば毎年のリバイスもできるし、どんどん追加することもできる。
- ・例えば 91 ページの資料は生かし、88～95 ページの情報は、91 ページの中に URL を入れて、そこに飛ぶようにする。これだけで終わってしまうのはもったいないし、そうすることで 5 年間耐えしのぐこともできる。88～90 ページは本文ではなく、ホームページのどこかに入れておく。このような案はいかがか。

【部会長】

- ・ホームページに載せるのは可能なのか。場所はあるのか。

【事務局 等】

- ・ホームページを作るのは可能である。

【部会長】

- ・将来的にも市民観察種のデータをもらって、やり取りするような場所を作るのであれば、そこにあるとよいかもしれない。

**【委員】**

- ・それができればもっとよい。「こんなものが見られました。」という時の参考になる。

**【事務局 等】**

- ・ホームページにするとか、リンクを貼ることは技術的には可能である。

**【委員】**

- ・これは、四季の生きもののことを野鳥中心に書かれており、その文章を再構成して前文を付けた。野鳥は植物や動物、水辺の環境とも非常に関係があり、世界の北方や南方にも渡るし、生態系の部分も書かれているので、ただ動植物のリストがあるのとは全然違い、写真もあるのでよいのではないかと思ってこれを作ったがいかがか。

**【委員】**

- ・これをリストの代わりにするかどうかということかと思った。

**【委員】**

- ・リストとしては、水辺研の最後の表だと思う。これは市の全域ではないが、落合川、黒目川を中心にしたリストである。夏鳥や冬鳥、留鳥というのも出ていて、どのような場所にいるかというのも出ている。
- ・鳥は止まっていないので、現実にリストにするのは難しい。確認種というのは見たものであって、声を聞いて確認したものは入っていないと思う。鳥の場合はその辺もいろいろ難しい。これは目視で、写真もあるので、立派なデータになるのではないかと思って入れた。

**【部 会 長】**

- ・収載する案と、ホームページに載せる案があるが、委員の皆様のご意見はいかがか。

**【委員】**

- ・この鳥の写真は本編にあった方がよい。これはインターネットで飛んで見るよりも、本文の中に入れたい。他にいろいろな生き物も載っている。

**【委員】**

- ・プロの写真家が撮ったので写真の質はとても高いと思う。撮ろうと思ってもそう簡単には撮れない。

**【委員】**

- ・本当は鳥だけではなく、他にもいろいろあった方がよいが。

**【委員】**

- ・これも含めてインターネットで見られるようにするとよいと思う。

**【部 会 長】**

- ・文章でも採用して、ホームページにも飛べるようにして、両方に載せてもよいと思う。

**【委員】**

- ・ページ数の問題があるのであれば、これはやめてはどうかという気もした。

【委員】

- ・インターネットに飛ばすのであれば、98 ページと 99 ページ、これはどんどんデータが積みあがっていくので、これを載せた方がよいのではないか。直近でやっていかなければならないモニタリングを、インターネットに載せた方がよいと思う。

【事務局 等】

- ・インターネットに掲載するかどうかは別の話で進められるので、それはまた改めてご相談させていただければと思う。

【委員】

- ・92～94 ページはちゃんとしたデータである。

【委員】

- ・そうすると、91 ページを先に入れて、その後に 88～89 ページを入れる。

【委員】

- ・それがよいと思う。

【事務局 等】

- ・ページ数というところもある。
- ・高橋委員から前回の会議の最後でご意見をいただき、写真と共に文章をいただいた。その際に「鳥についてしか書けないが、他はどうするのか」という話もあった上で受け取った。それをデータ化して展開している状況なので、鳥に偏っている。高橋委員は本日欠席されているので、そのような経緯があったということをご紹介させていただく。

【委員】

- ・そのお言葉は私も受けたが、鳥はいろいろな動植物と関わりがあるということが、この写真を見ると理解できるのではないか。自由に空間を動けるので、他の生き物とは違うと思う。

【事務局 等】

- ・鳥にずいぶんフィーチャーしているなと感じたが、ホームページに載せている間にさらにいろいろな情報が来たら、発展していけばよいのではないかと個人的には思った。素晴らしい写真なのは十分分かる。

【部 会 長】

- ・両方のご意見があるが、いかがか。

【委員】

- ・文章に、もう少し他の生き物との関係を入れてもよいかもしれない。先ほどもアユの生活史についての話があった。

【部 会 長】

- ・先ほどの場合は、余白があった。

【委員】

- ・そうではあるが、そのような要素があまり入っていない。このような話が最後に出て

きたが、私ももっと早く気が付いてご提案すればよかった。今回が最後ではあるが、子育てや季節性が違うことなど、入れていただくのはどうか。

【部 会 長】

- ・それはホームページで対応するというこでよいのではないか。ページ数が多いと言っているときに増量するのはいかがなものか。

【委 員】

- ・増量するのではなく、92～94 ページの表を削除してはどうか。それで例えば、もう1 ページ分減らして入れればよいのではないか。入れ替えならできるであろう。

【委 員】

- ・構成的には、資料編の中には、きちっとしたデータがあることが前提のような気がする。

【委 員】

- ・91 ページはいらないと思う。92～94 ページは全種が載っているが、91 ページはダイジェストという感じである。

【委 員】

- ・前の方に載っているから削除するという考え方はあるがどうか。

【部 会 長】

- ・今おっしゃっているのは話が違う。
- ・92～94 ページは資料価値があるということである。

【委 員】

- ・92～94 ページは東久留米全体のものである。
- ・91 ページの表は確認箇所が限定されている。いつも見られているオオタカやツミが入っていない。

【委 員】

- ・これは川沿いだけを見ている。

【委 員】

- ・そうであれば、92 ページからの方が資料価値があると思う。

【委 員】

- ・1947 年からの表なので、70 年以上である。

【部 会 長】

- ・88～90 ページはどうするか。

【委 員】

- ・写真が増えたので、これを絞って入れるのも一つではないかと思ったが、いかがか。

【部 会 長】

- ・つまり 88～90 ページを絞るということか。
- ・どれぐらい短くなるか。文章 1 ページ、写真 1 ページくらいか。

【委 員】

- ・市の鳥のオナガをどうするかということである。オナガはすごく減ってきたということで、環境の変化が書かれていると思うが、これをもう少し短くして、留鳥や夏鳥、冬鳥の子育てのことなども書けるとよいと思う。

【部 会 長】

- ・オナガは他の鳥とも仲良しである。ツグミか何かと一緒に飛んでいる。

【委 員】

- ・鳥は混群をつくる。
- ・鳥類は人間とコミュニケーションがとれる。

【部 会 長】

- ・今さらであるが、オナガのコラムがあってもよかったかもしれない。

【事務局 等】

- ・前回の 1947 年からの野鳥観察記録を載せるにあたっては、2014 年で観察が止まってしまっているため、あくまで参考とさせていただいた経緯がある。ただ、本文中に「東久留米市内で、2014 年か 2022 年までの 9 年間に」という記載もあるので、その本文と表を抜いた上でこれを参考につけるのは少しアンマッチではないかと思う。別々のものとして載せることにはなるだろう。

【委 員】

- ・この文章は 2014 年以降のことで、後ろの 92～94 ページは 2014 年までの資料ということか。

【事務局 等】

- ・この文章に対するエクセルの表になっているので、これに変えてこちらの 2014 年までの資料にはならない。

【部 会 長】

- ・「2014 年から 2022 年までの 9 年間に」というのが 89 ページの冒頭にある。それに対応している。

【委 員】

- ・この 89 ページの文章に対応するのが 91 ページということか。そうであれば、92～94 ページは他でも見られる。これは他で出ていたか。

【委 員】

- ・中間見直しには出ていると思う。

【委 員】

- ・そうであれば、ここにアスタリスクを入れて、2014 年までの表をどこで参照できるかを示せば、これはいらない。

【事務局 等】

- ・このような形でページ数を減らすということで、ご提案いただいていると思う。

【部 会 長】

- ・いずれにしても、先ほどご提案があったように、もう少し文章を短くしていただいて

もよいか。それでいかがか。それで 92～94 ページは「中間見直しを参照」という脚注をつける。貴重な記録であるというようなキャプションを入れていただく。

**【委員】**

- ・この過去の表はホームページに載っているのか。

**【事務局 等】**

- ・ホームページには載せている。
- ・本文を修正するのは今日が最後なので、この段階で載せるか載せないかという判断をお願いしたい。

**【部 会 長】**

- ・承知した。

**【委員】**

- ・ページ数を詰めるのであれば、92～94 ページはホームページに載せて、脚注をつけた方がよいと思う。

**【委員】**

- ・「2 生きものの確認状況」の（1）が確認の概要で、（2）が希少種の確認状況、（3）が外来種の確認状況となっている。この次に「（4）鳥の状況」と書くのか。

**【委員】**

- ・確認種は出ているが、それらがどのような生き方をしているかということが全然出ていない。例えば鳥であれば、どの時期に見られて、何を食べているのか、答えは書いていないがこれを読むことで考える元になるのではないかと思う。

**【委員】**

- ・言っていることはよくわかるが、なんというタイトルで掲載するのがよいかということである。

**【委員】**

- ・“＜参考＞”というタイトルがあまりよくないということか。

**【委員】**

- ・「資料5 生きものの現況」の中にどのように位置付けるのかということである。いろいろな関わりなど、話をどんどん広げていってしまうと、逆に前の方の話になってしまう。ここは例えば、四季に見られる鳥の種類などを淡々と示すとか、そのような感じではないか。

**【部 会 長】**

- ・中間見直しの時は、「資料5 生きものの現況」の中に、「市内の主な生きものの変化」として、「植物」、「動物（鳥類）」があるが、今回は、外来種の次にある。

**【事務局 等】**

- ・それについて、前回の議論で“＜参考＞”の位置づけについてお話させていただいたが、資料5の「2 生きものの確認状況」の、（1）～（3）に分類されないものとして、2014年までの野鳥観察記録を載せたという理解をしている。

【部 会 長】

- ・タイトルやフォントを（１）～（３）と揃えるような建付けにしないと、「（３）外来種の確認状況」についての参考のようになってしまう。

【事務局 等】

- ・表自体は残すという、前回ご提案いただいた通りである。見出しについて少し考えた方がよいというご指摘でよろしいか。

【部 会 長】

- ・収載するかどうという結論はまだ出てないと思うが、今の話は、“＜参考＞”が「（３）外来種の確認状況」の中の続きのように見えてしまうので、（１）～（３）の次、（４）に当たるものとして、独立項目として、同じようなフォントの大きさや書体で大きく書けば、その誤解は避けられるのではないかという、テクニカルな話である。

【委 員】

- ・これを見ると、世界を移動している野鳥は、なぜ外来種にならないのかということになるかもしれない。

【部 会 長】

- ・いずれにしても、独立項目としてはっきりわかるようにした方がよい。
- ・92～94 ページを URL で中間見直しを参照してもらうことにして、写真も必要なので、こちらは残すということではいかがか。

【事務局 等】

- ・何ページを残すのか。

【部 会 長】

- ・92～94 は参照という形にして、88～91 ページの方は独立項目として残す。

【事務局 等】

- ・88 ページの冒頭の“＜参考＞”のフォントを（１）～（３）の形で表すことにする。

【委 員】

- ・あるいは（４）にして「（４）野鳥の観察」にするか。

【部 会 長】

- ・それは少しバランスが悪い。

【事務局 等】

- ・これまでのものと並列させるということか。

【部 会 長】

- ・「（３）外来種の確認状況」ときて「（４）野鳥の観察例」とするか。

【事務局 等】

- ・適切かどうか分からないが、コラムと位置づけるというのはいかがか。

【部 会 長】

- ・資料編のコラムということか。
- ・それなら「参考 野鳥の観察例」などでよいのではないか。その方がすっきりするの

ではないか。いかがか。

【委員】

- ・「東久留米の野鳥」という資料があり、その中に網羅されている。我々がここで載せる必要があるのか。

【事務局 等】

- ・ページ数の制限もあるので、可能であればこちらも併せてインターネットで公表させていただく方向にしてボリュームを下げて、少しでも文字を大きくする方がよいかもしれない。

【委員】

- ・私はその方がよいと思う。

【部会長】

- ・88～94 ページをカットするということか。それではそのようにする。
- ・URL など参照先の情報はどこに入れるのがよいか。

【委員】

- ・モニタリングの後でよいのではないか。

【部会長】

- ・104～105 ページに入れてはどうか。

【事務局 等】

- ・URL、QR コードとかそういうものを載せる。

【部会長】

- ・いずれにしても、事柄は言葉で書くようにしていただきたい。

【委員】

- ・そうすれば、モニタリングする人がこのデータを見られる。

【委員】

- ・その方がすっきりする。

【部会長】

- ・104～105 ページの鳥類の所に、参照先を言葉とともに入れる。
- ・では残りの用語集について、いかがか。

【委員】

- ・用語集 121 ページ「遺伝的かく乱」について、メダカやホタルのことを書いているが、カワヂシャのことも書いてはどうかと思っている。
- ・カワヂシャとオオカワヂシャについて、今はほとんどが“合いの子カワヂシャ”に変わったのではないかという話もあり、非常に身近なことなので、それが書いていないのはまずいのではないかと思って、案を考えた。
- ・「他の地域から生き物が持ち込まれるということで、遺伝的形質の異なる近縁種の個体との間で交配し、地域ごとの遺伝的多様性が失われてしまうこと。身近な例では、メダカやホタル、落合川のカワヂシャの外来種による雑種化などが挙げられる。」と

いう案である。

**【部 会 長】**

- ・これを追加するということか。

**【委 員】**

- ・前の方を短くして、文字数は変わらないようにしている。

**【部 会 長】**

- ・これは大丈夫であろう。

**【委 員】**

- ・83 ページ「2 生き物の確認状況」に既存資料一覧の表の下の方に「野鳥は友だち 東久留米バードウォッチングの会 HBWS 創立 20 周年記念誌」があるが、これは別物が混在している。「野鳥はともだち」は東久留米市教育委員会から出している冊子のことではないか。バードウォッチングの会は別だったと思う。
- ・その下に「自由学園から提供されたデータ」とあるが、何年のものか書かれていないので、いつのものか限定していただいた方がよいのではないか。

**【部 会 長】**

- ・これは複数あるのではないか。

**【事務局 等】**

- ・随時のものなので、この形が好ましくないのであれば、この記載自体を削除させていただく。

**【委 員】**

- ・そうであれば、随時と書いていただければよい。要するに問い合わせができるようにしていただきたい。

**【部 会 長】**

- ・これは入れる必要があるか。

**【委 員】**

- ・なくてもよいと思うが、何か意味があってお書きになられたのではないか。

**【部 会 長】**

- ・いらぬであろう。上にきちんと書かれているし、随時あると思うので、特に問題がなければ「自由学園から提供されたデータ」は削除していただいてもよいのではないか。

**【委 員】**

- ・下から 4 行目「東久留米の野草」は市の資料であるが、1978 年の資料のことではないか。ハンドブックのことではないのではないかと、これについて伺いたかった。
- ・今は絶版になっている市史の資料が 1978 年で、資料的には 1978 年の方が地形、地質などからかなり詳しく書かれている。1978 年の資料とハンドブックはそれぞれ違うので、2 行にしてそれぞれ何年のものか書いてもよいのではないかと思った。

【部 会 長】

- ・二つあるのであれば、二つの年号を括弧の中に入れてよいいのではないか。「清瀬の植物」の方はどうしているのか。

【委 員】

- ・清瀬の方は 2010 年のものであった。

【部 会 長】

- ・「28.東久留米市生きもの調査委託報告書」の“28”とは何か。

【事務局（コンサルタント） 等】

- ・これは中間見直しの時の調査報告書である。それが平成 28 年であったということでそのような報告書のタイトルになっている。

【部 会 長】

- ・平成 28 年は入れてもよいいのではないか。その下の調査報告書にも年号は入らないのか。年号が入れられるものは入れていただければと思う。

【委 員】

- ・85 ページのコラム 15、他の市との比較ということで、最後の段落「さらに、…」の文章は、前のアジア航測の文章をそのまま引用しているのだが、「黒目川下流部と、空堀川上流部…」の部分について、参考文献にその根拠データが書かれていない。根拠データはアジア航測で持っていると思う。中間見直しにはアジア航測が書かれていたので、分かるはずである。記入していただきたい。

【部 会 長】

- ・他はよろしいか。

【委 員】

- ・コラム 3 とコラム 4 の筆者の名前はどこに載せるのか。

【事務局 等】

- ・奥付に入れるとご議論いただいたので、そちらの方に入れるが、奥付がまだできていない。

【部 会 長】

- ・表紙や裏表紙の話を事務局から願います。

【事務局 等】

- ・計画書の中身については今回ご議論いただいたと思う。製本については見やすさに十分配慮するようご指摘をいただいている。
- ・計画書の表紙と裏表紙案は現時点でお示しするに至っていないが、例えば、第二次計画や中間見直しの際に使われたケヤキの萌芽の写真について、時間が経ったその後の写真を使うというようなことを現在考えている。引き続き皆様とご相談させていただきながら作成できればと思っている。ご協力をお願い申し上げます。

【委 員】

- ・前の写真のその後は、今はこの木がないので撮れない。前の時も撮りたかったのだが、

撮れないので他の木で撮った。この写真は下里の真ん中辺りである。

**【部 会 長】**

- ・それでは最後に、その他について事務局より願います。

(3) その他

**【事務局 等】**

- ・本日をもって、予定されていた第三次緑の基本計画検討部会の会議日程は終了となる。まだ若干のご指摘、微細な修正はあろうかと思うが、長期間にわたるご協力の程、感謝申し上げます。
- ・本日ご確認いただいた計画案は、2月7日に開催される環境審議会に報告する。環境審議会での報告と審議決定をもって計画の案とし、その後市で決定して、製本、発行する流れになっている。

**【部 会 長】**

- ・今日の意見を反映したものは、委員の皆様にも配布していただきたい。それを確認していただき、審議会へ上げたいと思うので、よろしく願い申し上げます。
- ・環境審議会の結果などは、事務局の方から委員の皆様にご報告をお願いします。
- ・あつという間の1年4か月であったが、中間見直しから引き続き参加していただき、今回も良いものができたと思う。感謝申し上げます。最後に課長からご挨拶をお願いします。

**【事務局 等】**

- ・本日をもって、検討部会の検討が終了となる。事務局の至らない所も多々あったと思うが、皆様の活発なご議論により、東久留米らしい緑の基本計画として調整できたのではないかと考えている。また、東久留米市長が変わる中で、新たな施策も盛り込んで、東久留米らしい、非常に素晴らしい計画にいただいた。本当に感謝申し上げます。

**【部 会 長】**

- ・長期間にわたるご協力に感謝申し上げます。これで終了本日の検討部会を終了する。

以 上